

南京都病院

http://mkyoto-hosp.jp/

専修医

病院概要

■ 病院長名: 宮野前 健

■ 住 所: 〒610-0113 京都府城陽市中芦原11番地

■ T E L: 0774-52-0065 ■ F A X: 0774-55-2765 ■ U R L: http://mkyoto-hosp.jp/

■ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	7			4		2	2			5						1	
泌	リハ	アレ	精神	救急									計		初期	後期	計
	1												23				

■ 病床数(医療法病床数)

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
180	120		50				350

■ 1日平均患者数 : 【外 来】141.8件/【入 院】285.6件 ■ 年間救急患者数 : 453.0件(救急車搬送数:111.0件/年間)

■ 電子カルテシステム : 有

研修休制

■ 指導医数: 3名

■ 臨床病理検討会(CPC)の実施状況: 0回/剖検数:0件 ■ 学会・研修会への参加費用支給 : 支給有り(発表者のみ)

■ 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	専 修 医(後期研修)
1 年 次	370,000 円/月
2 年 次	370,000 円/月

■ **当 直:**【後期研修】 2.5回/月平均

■ 各種保険: 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用

■ 宿舎・住宅: 有(駐車場有)

■ 院内保育所: 無

■ そ の 他: 学会、研修会等への参加を積極的に支援

研修概要

後期研修

■ 当院の研修領域

呼吸器内科、神経内科、小児科(重症心身障害医療を含む)重症心身障害医療は1週間から数ヶ月の短期間研修も可能です。

■ 研修の特徴

呼吸器内科プログラム:慢性呼吸器感染症、呼吸管理を学ぶことができます。

神経内科プログラム :様々な神経変性疾患を経験することができ、診断・初期治

療からあらゆる病期の診療やリハビリテーションを学ぶことが

できます。

小児科プログラム : 重症喘息などの小児慢性疾患、心身に課題を抱えている子供

達の施設入院療法を支援学校と協力しながら行っています。

■ 募集科目・人数(2015年4月募集予定)

呼吸器内科コース、神経内科コース、小児科コース(小児科、重症心身障害医療)

■ 応募資格: 医師免許取得後2年間の初期臨床研修修了(見込み)者

■ 応募締切: 随時受付■ 試験日程: 随時■ 選考方法: 書類、面接

■ 修了後の進路: 当院常勤医師またはNHO各病院常勤医師に推薦、希望により京

都大学医学部各診療科の関連病院に紹介可能です。



病院PR

2012年3月より新病棟(60床×5階)での診療が始まり、電子カルテ・PACSも導入されました。また2017年夏ごろには外来・管理棟(医局等)が建て替えられる予定です。

①結核を含む呼吸器疾患

②神経・筋疾患(神経難病)

③小児慢性疾患および重症心身障害医療

また、セーフティーネットの役割として在宅支援の一環で、神経難病や重症心身障害の方達の短期入所も積極的に行っています。患者さん一人一人にしっかり向き合え、高度な専門医療が実践できる施設です。

■ 専門医資格関連情報(2015年1月1日現在)

日本神経学会専門医教育施設、日本老年医学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本胸部外科学会認定医制度関連施設、日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設、日本気管支学会認定医制度認定施設放射線科専門医修練協力機関、日本感染症学会専門医研修施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、臨床研修協力施設、NST(栄養サポートチーム)稼働認定施設

珥 修 坦 坐

■ 副院長 坪井 知正

呼吸器内科のスタッフは京都府下では京都大学に次ぐ陣容を誇っています。肺結核などの感染症や慢性呼吸不全に対する呼吸管理、睡眠時無呼吸症候群の診断・治療を精力的に行っています。またその指導には定評があります。神経内科、神経難病を主に診療していますが、日常よく見られる疾患の診断・治療にも力を入れ、物忘れ外来も開設していまます。小児科では、喘息や肥満などの慢性疾患の他、重症心身障害児(者)の医療や在宅支援を重点的に行っています。



お申込み・お問い合せ

■ 照 会 窓 口: 事務部 管理課
■ 担 当 医 師: 坪井 知正(副院長)
■ T E L: 0774-52-0065

■ E - m a i I: tsuboit@hosp.go.jp

■ 病 院 見 学: 随時受け付け

トピックス



呼吸器内科は平均肺結核25人・一般呼吸器疾患75人の患者さんの入院診療を行っています。急性呼吸器感染症や肺MAC症・肺結核症などの慢性呼吸器感染症の治療を得意としています。肺結核後遺症、肺気腫などによる慢性呼吸器不全の患者さんも多く、在宅酸素療法140名以上、マスク式人工呼吸器を用いた在宅人工呼吸60名以上の患者さんがおられます。

神経内科はパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、難治性末梢神経障害などの神経難病を



主とした診療を行い、頭痛・しびれ・もの忘れなど、日常よく見られる疾患の診療も学べます。呼吸器内科と連携し、難病の呼吸筋麻痺などに適切に対応します。小児科は子供達一人一人にしっかり向き合える医療を実践しています。隣接する支援学校と協力しながら、様々な疾患や障害のある小中学生に普通学校教育を保障し治療を行っています。急性疾患の対応や、気管支喘息、アトピー性皮膚炎をはじめとするアレルギー疾患に関しては発達アレルギー的観点からの予防治療を心がけています。

